

南 風

2013年4月 第4号

みなみかせ

発行 有秋南小学校区安心安全ネットワーク

問合せ 姉ヶ崎保健福祉センター 62-8601

私たちは、子どもたち（南っ子）の健やかな成長を支え見守る活動を通して、“一人ひとりの顔が見える助け合いの地域づくり”を進めています。本紙は活動の一端を報告するものです。ご意見をお寄せ下さい。



訓練の支援！

氏（現事務局長）が、個別に活動するこれ等の団体をいざと云うとき顔の見える関係を作っておこうと呼びかけ、結成されました。

市原市災害ボランティアネットワーク

団体紹介3

発足

市原市内には多くの防災ボランティア団体があります。阪神淡路大震災・新潟地震等の災害復旧活動を現地で見つけた白井克伸

有秋南小学校区安心安全ネットワークは、いろいろなボランティア団体の人々で構成されています。今回は、市原市を中心に広く活動している「市原市災害ボランティアネットワーク」について、同会会長の土橋さんから紹介します。

災害から身を守る

防災・減災訓練&研修

お手伝いします

今までの活動

当初は会員だけで、災害時に役立つロープワーク・炊き出し・避難所開設等の訓練を行っていましたが、市内の自主防災会等から防災訓練を手伝って欲しいとの依頼が寄せられるようになり、そこでアルファーマイハイゼクス袋を使用した炊き出し、ブルーシートを使った仮設テントの組み立て、使用済みてんぷら油を使ったランプ、新聞紙スリッパ、レジ袋の活用法等の訓練メニューを作り、防災訓練のお手伝いをするようになった。うなってきました。

東日本大震災の時は、千葉県社会福祉協議会が開設したボランティアセンター、旭市ボランティアアセンター等に要員を派遣しました。また佐久間市長と相談し宮城県名取市を支援することとなり、市民から提供された毛布・タオル・工具等を、トラック



被災地支援

クに満載して現地に届け、被災地では入手出来ないスコップ・農業用ホーク・長靴・一輪車等も持ち込みました。また名取市市民体育館に開設されたボランティアセンターの要員として、21日間述べ106人が働きました。

また防災講演会も市原市内だけでなく、茂原市、袖ヶ浦市、南房総市、長南町、千葉市緑区の防災組織の役員の方々に行ってきました。

これからの活動

千葉県災害対策コーディネーター養成講座の開催、市総合防災訓練の避難所訓練、自主防災会の要請による講演会と各種訓練への支援を行っています。多方面からの支援要請に応えるため、NPO法人「ゆかいな仲間たち」を昨年立ち上げました。これで市外からもいろいろな技術・知識を持った仲間が集まるようになりました。首都圏直下型地震や東海・南海地震で多くの被害が想定されている時、私たちの知識・技術が被災のお役に立てればと考え活動していく所存です。（土橋康夫）



支援物資搬入

南小学校の大大小小的な地域への開放を頂き、学校の各種行事(運動会、学習参観、保護者との交流会、防犯訓練、まち探検、市原市総合防災訓練、PT Aバザー、地域感謝の会など)に様々な形で関わる事ができました。また防災・防犯活動では独自のプログラムにより子どもたちと一緒に総合防災訓練を実施できました。また非常用テントや簡易トイレなどを備えた防災教室を

平成24年度を振り返る 人の輪ができた みんなで育てよう

設置し防災学習に活用されています。「地域感謝の会」における南っ子の大根収穫の演劇には我々一同心を打たれました。みんなと一緒に頑張ったね。まだ南小ネットワークはスタートしたばかりですが、子どもたちと地域住民、先生方そして保護者のみなさんとの新しい人の輪がみえてきました。南小校区が一体となって大きく育てていきたいと我々一同思っています。

1. 学校行事に参加し交流を深めた

(子ども支援部)

(1) 通学路の点検： 椎の木台・桜台の一部

この事のみ点検は実施を点検することが出来た。しかし学校授業の今後、このように手伝い「まち探検」に参加した際に合わせて点検したい。

元気な声が響く

落着きのある町

台、緑園都市町会に次ぐ大団地になりました。

椎の木台

町会紹介2

会です。現在、会員数は510世帯で、この近隣では桜

台、緑園都市町会に次ぐ大団地になりました。平成6年には団地入口に新自治会館を建設し、多くの会員のコミュニティの場として活用されています。団地内はメイン道路を1、2丁目に分かれ、西方奥に高石山公園があります。子どもたちの遊び場となっているほか、早朝には近隣の方たちが健康維持のためラジオ体操をされている姿も見かけます。



桜の大木もあり、春にはウォーキングや犬の散歩の方々が足を止めてミニ花見を楽しんでいます。

「長寿会」を中心とした輪投げ・童謡・踊りや、カラオケ、民謡、卓球、謡曲俳句。又、中高年層を中心にした「話そう聞こう会」好評であります。



「長寿会」を中心とした輪投げ・童謡・踊りや、カラオケ、民謡、卓球、謡曲俳句。又、中高年層を中心にした「話そう聞こう会」好評であります。

今後の課題

2年前の東日本大震災から人々の防災に関する防災意識が高まる中、自治会としても近隣町会や南小校区安心安全ネットワークと



連携して、いざと云うときの備えを早急に検討していきます。

又人々の横の絆を大切に団地内の結束を図り諸問題の解決に取り組んでいきたいと思っております。(中島 椎の木台自治会長)



2. 地域の安全を守る仕組みをつくろう (安全部)

地域の人々が、

踊り・編み物・工作・読書等の学習の場や集会所・会議室として利用できないか。

- (1) 南小学校「引渡訓練」への参加(5月8日)
- (2) 5町会防災関係担当者との顔合せと情報交換
- (3) 市原市「総合防災訓練」参加(行政サイドへ南小学校区会場実施案の提案)
- (4) 「安心安全案内パネル」の設置(桜台町会ほか1~2ヶ所)
- (5) 救急安全安心対応員体策の検討実施
- (6) 南小学校「防災教室」の充実・整備
- (7) 南小学校プール更衣室屋根のペンキ塗り・5月7日(火)及び9日(木)

- (2) 広報紙「みなみかぜ」の充実と地域情報の共有を図ろう。
- (3) 研修会や親睦会を開



3. 地域住民の集いの場を作ろう (総務部)

(1) 学校の「地域の方々」の部屋」を活動拠点として活用させて貰おう。

生、保護者、学校支援ボランティア等の方々と交流を深めよう。

対策関連施設を見る。

- (4) 先

き会員のレベルアップを図ろう。地震被災地の情報収集、上・下水処理施設の見学等災害

H25年度に向けて子どもたちとふれ合いを

ば、子どもたちもそれを感じとってくれると思います。日常的なふれ合いをもっと増やし、私たちが見守られながら育ったように、その心をこの子たちに伝えなければなりません。

私たちが子どもの頃は、子どもは宝であるという「家宝」思想によって、自分が住んでいる地域で、家族はもちろん周辺の人々に見守られながら成長しました。ところが、時代の移り変わりとともに、地域の結びつきもまた大人と子どもの関わり合いも少なくなってきました。子どもたちは大人をよく見ています。私たちが地域の大人が子どもたちとしっかりと向かい合えることが出来れば、

先生の移動がありました

(敬称省略)

転出・お世話になりました

- ・齊藤雅宏(校長) 市原市教育センターへ
 - ・村串悦子(教諭) 市原市立青葉台小へ
 - ・向井隆志(教諭) 市原市立清水谷小へ
 - ・半田 亘(教諭) 市原市立石塚小へ
 - ・長嶺好美(講師) 市原市立海上小・国府小兼務へ
 - 転入・お世話になります**
 - ・木村雅之(校長) 市原市立五井中より
 - ・川添幹貴(教諭) 市原市立若宮小より
 - ・坂本由依(教諭) 新規採用
 - ・尾関啓生(講師)
 - ・高橋迪郁(講師)
- なお齊藤雅宏前校長先生には顧問として、また木村雅之新校長先生には新役員としてご指導頂くこととなりました。



今年も子どもたちと一緒に H25/3/4 「感謝の会」

南小の地域関連行事 4-9月

月/日	曜	行事
5/7	火	プール更衣室屋根塗装
5/9	木	PTA草刈(13)
5/8	水	避難・引渡訓練(14)
5/18	土	運動会(8:30)
5/21	火	NW推進委員会(19)
6/11	火	学校一斉防災訓練
6/15	土	PTA運営委員会/交流会
6/18	火	学習参観(13:30)
8/24	土	PTA運営委員会
9/1	日	市総合防災訓練

*小学校では、新入生を迎え新学期が始まりました。運動会も間もなくです。学校へ行ってみましょう!

編集後記

この冬は大雪の後、異常暖冬とその後花冷えの日は続いたことで、早い開花と長い花盛りが楽しめましたが、それも春の嵐で一瞬のうちに「花吹雪」となってしまうました。希望の春、南小の入学式が3月10日に挙行されました。28人の可愛い子たちが「南っ子」として仲間入りしました。私たちが桜巨防犯パトロール隊のみなさん方と参列し、この子たちの門出を祝福しました。